

## 事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	蚕糸業対策事業	コード	8102
-------	---------	-----	------

2 担当部課	部等	産業振興部	課等	ブランド推進室	作成者	滝澤 修
--------	----	-------	----	---------	-----	------

3 事業概要	目的体系	基本目標	人が集い、にぎわいと活力あふれるまち		
		政 策	地域資源の活用	施 策	ブランドの振興
		予算科目	蚕糸業対策事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	シルク岡谷の歴史や文化、技術を風化させることなく、後世に継承していくため蚕糸業に係る支援策を展開する。		
目的	対象者	市民及び岡谷絹工房会員	
	意 図	伝統産業の継承及び後継者の育成、シルクのまちづくり推進	

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<p>岡谷絹を使用した機織りの技術、染色技術の後継者育成を行う「岡谷絹工房」を支援するとともに、シルク岡谷の歴史を風化させることなく、広く継承させていくことを目的にシルクフェア実行委員会が主催する「2019シルクフェア in おかや」を支援した。</p> <p>また、シルク文化の創造と発展、シルク岡谷の発信を目的として、日本絹文化フォーラム実行委員会が主催する、「日本絹文化フォーラム2019」を支援した。</p> <p>負担金：シルクフェア実行委員会負担金 200,000円 参加者 3,457名 4/29          日本絹文化フォーラム負担金 100,000円 参加者 314名 4/28          補助金：岡谷絹工房補助金 200,000円 会員数 34名 3/31現在</p>		
前年度の課題への対応	シルクフェアのクラフト展をレイクウオーク岡谷を会場に開催し、参加者の向上に努めた。また、スタンプラリーの内容（ポイント数、景品）を工夫するなどイベントの魅力向上に努めた。		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	支援事業数			単位	団体
実績値	3	3	3		
*指標の説明	補助金及び負担金の交付団体数				
② 成果指標（指標名）	イベント参加者数			単位	人
目標値	1,828	1,919	3,577	3,771	
実績値	1,919	3,577	3,771		
達成度	105.0%	186.4%	105.4%		
*指標の説明	シルクフェアと日本絹文化フォーラムの参加者数合計（28年度以前はシルクフェアのみ、）				
*目標値の設定方法の説明	過去3年間の最大値				

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	500,000	500,000	500,000	500,000
経常経費	500,000	500,000	500,000	500,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000
正規職員の人数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30
③ 合計コスト(①+②)	2,900,000	2,900,000	2,900,000	2,900,000
前年度比		100.0%	100.0%	100.0%
財源	2,900,000	2,900,000	2,900,000	2,900,000
一般財源				
内訳	0	0	0	0
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	966,667	966,667	966,667	
前年度比		100.0%	100.0%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
シルクフェア実行委員会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	200,000	200,000	200,000	200,000
日本絹文化フォーラム負担金	件数	1	1	1	1
	金額	100,000	100,000	100,000	100,000
岡谷絹工房補助金	件数	1	1	1	1
	金額	200,000	200,000	200,000	200,000.0
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	500,000	500,000	500,000	500,000
	割合	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。		0
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。		0

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		0
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 105.4%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 105.4%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡谷絹工房の制作体制の強化及び販路拡大。デザインの研究及び岡谷ブランドの核となるシルク商品の開発。</li> <li>・日本絹文化フォーラム及びシルクフェアのイベント内容の見直し。</li> </ul>	
改善方法	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊の活動を通じて、岡谷絹工房が主体となった技術の向上に向けた研修会、勉強会の開催や、販売会等を通じて消費者ニーズの把握に努めるとともに、専門家の意見等を聴取し岡谷ブランドの核となるシルク商品の開発を行う。</li> <li>・イベント内容の検証等を行うなかで、岡谷シルクの効果的な発信に向けたイベントの開催を検討する。</li> </ul>	
	改善開始時期	令和2年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	------------------------------------------	---